

記 者 提 供 資 料
2025年(令和7年)12月10日
文化・スポーツ室 歴史文化財担当
担当:稻原・池田
電話:918-5629 内線:7221

報道機関各位

『新修明石市史』第1巻「明石のあけばの」が完成

～ 12月15日(月)14:00から市長に完成報告 ～

このたび、『新修明石市史』「通史編」シリーズの第1冊目になる「明石のあけばの」が完成しました。

つきましては、明石市史編さん委員長より市長へ完成の報告を行いますので、ご多用中のことは存じますが、ぜひ、取材していただきますよう、よろしくお願ひいたします。

記

[日 時] 2025年12月15日(月) 14時00分から

[場 所] 明石市役所本庁舎3階 301応接室

[出席者] 明石市長 丸谷 聰子
明石市史編さん委員長 奥村 弘 氏

[内 容] 『新修明石市史』第1巻「明石のあけばの」の完成報告

<市史刊行にあたって>

明石市史としては「明石市史上巻」(旧石器時代から江戸時代まで)が昭和 35 年に、「明石市史下巻」(明治時代から昭和 45 年まで)が昭和 45 年、「明石市史現代編」(昭和 20 年から平成 10 年まで)が平成 11 年に刊行されています。

現在の市史には、本市の自然分野の記述がないことや、旧石器時代から江戸時代にかけての資料が膨大に増え、その間の歴史的認識が変化していることから、2013 年(平成 25 年)から明石市史編さん員会(委員長 奥村弘氏)を立ち上げ、新たな明石市史編さん事業に取り組んできました。

このたび、その成果の一つとして、「通史編」シリーズの第 1 冊目になる「明石のあけぼの」が刊行されましたのでお知らせします。この巻は、自然編と考古編からなり、近年の研究成果を取り入れ、豊富なカラー図版とともに新たな明石の歴史を叙述しています。

内 容：自然編では明石の丘陵・台地や沖積地の成り立ちなど、地形や地質、人文地理について5章に分け記述。考古編は「明石原人」論争の顛末や明石の幣塚古墳と五色塚古墳との関係性など、旧石器時代から平安時代までの考古遺跡からみた歴史を5章に分け詳述。

価格等：B5判・フルカラー・全430ページ・本体2,500円

明石市立文化博物館ほか市内書店にて販売

その他：第2巻「明石の古代、中世、近世編」、第3巻「明石の近代、現代編」は来年刊行予定。

なお、第 1 巻の刊行を記念して、下記の通り講演会・シンポジウムを開催いたします。

日 時： 2026 年 1 月 18 日(日)13 時 00 分(開場 12 時 00 分)

場 所： 明石市立西部市民会館(明石市魚住町中尾 702-3)

内 容： はじめに 奥村 弘 氏(兵庫県立歴史博物館館長)

「明石市編さんの意義と今後の展望について」

講 演 春成 秀爾 氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)

「明石の考古学」

シンポジウム (仮)「明石の自然と考古」

・ パネラー 奥村 弘 氏

春成 秀爾 氏

森本 真一 氏(兵庫地理学協会会員)

吉岡 保 氏(神戸史学会会員)

・ コーディネーター 大国 正美 氏(神戸深江文化史料館館長)